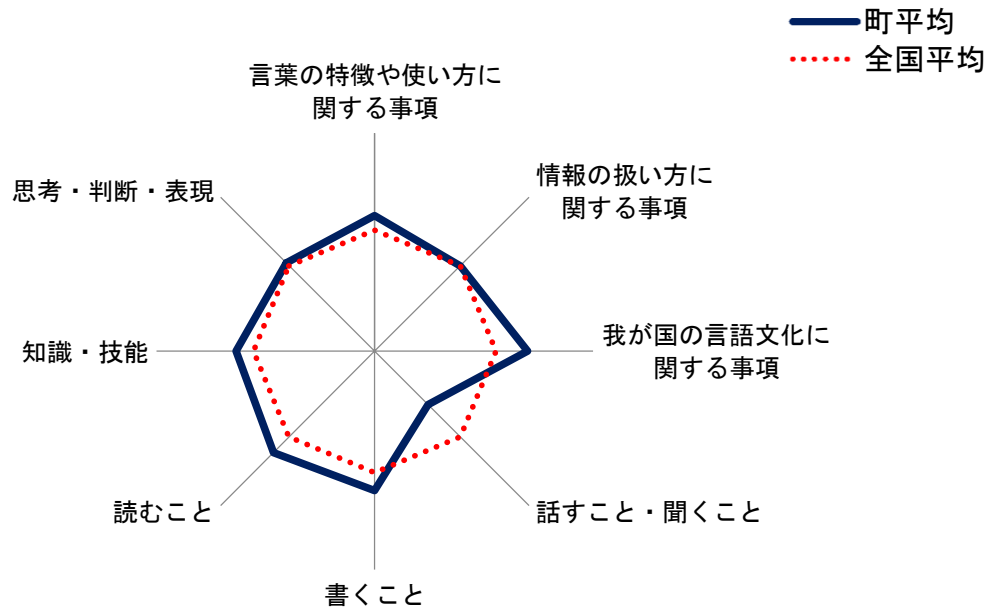
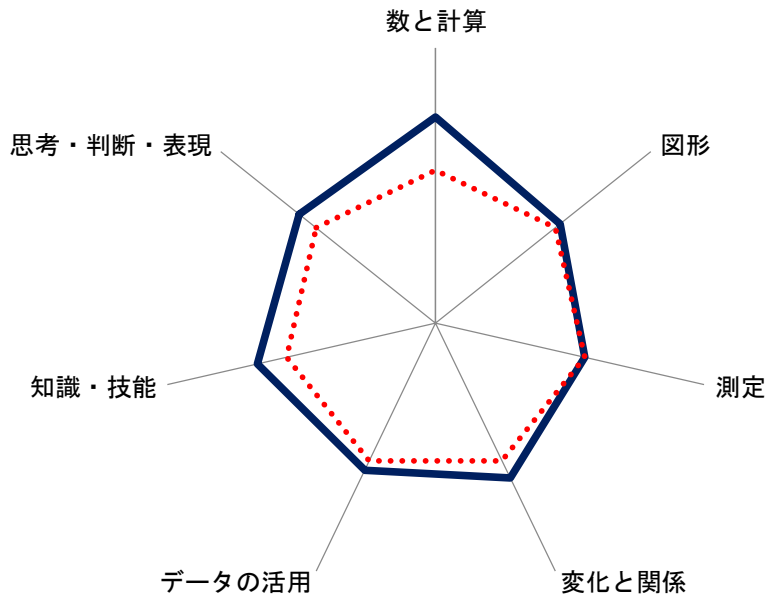


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【国語】

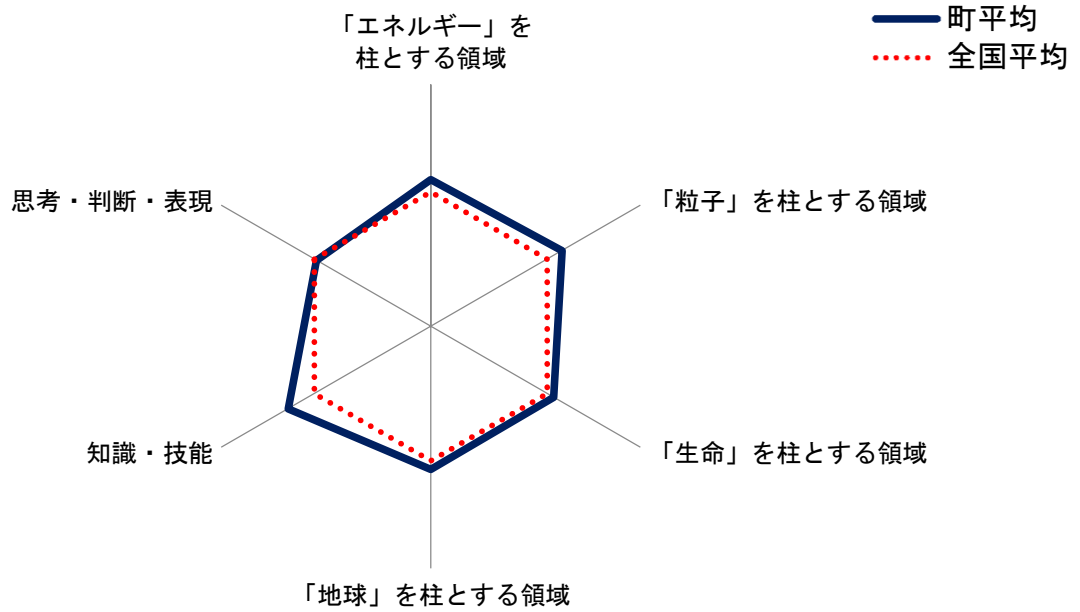


【算数】

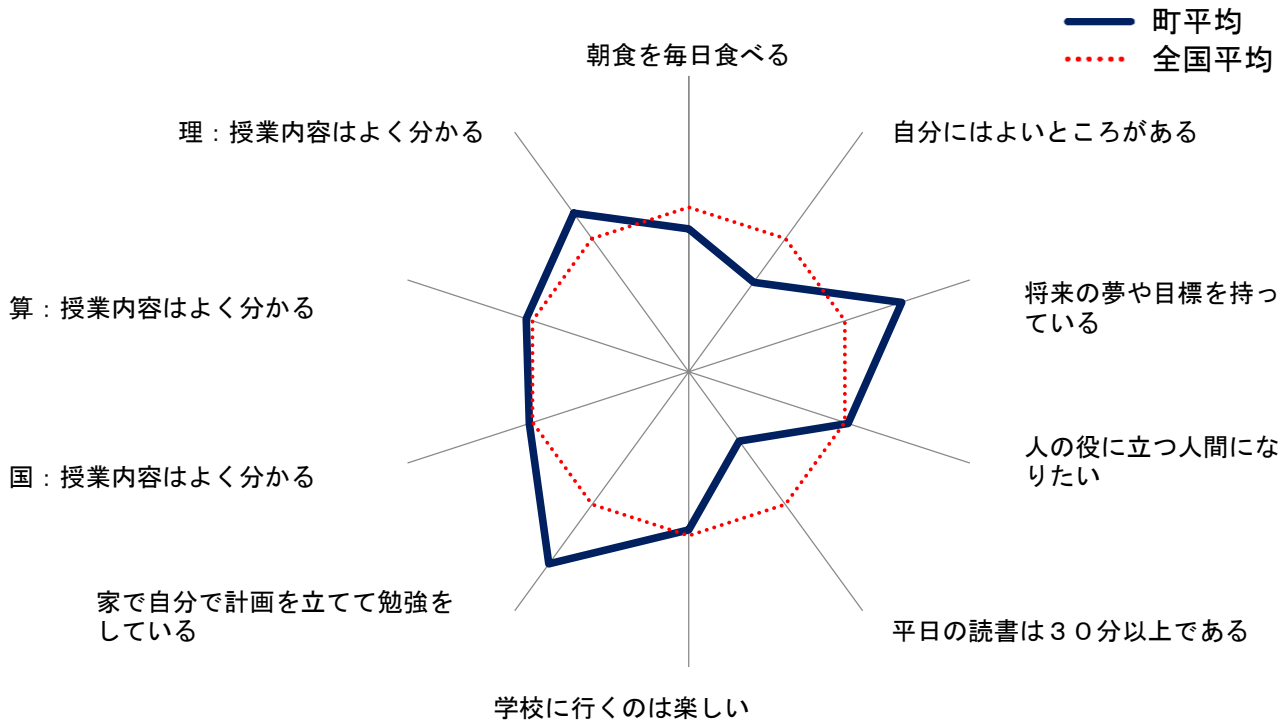


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【理科】



○ 児童質問紙調査 (全国の平均回答率との差: 肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、算数は、「数と計算」をはじめ、全ての項目が全国平均を上回っており、極めて良好な結果である。国語の「話すこと・聞くこと」の項目は全国平均を大きく下回っており、学習内容の定着に課題が見られる。今後も、更なる学力の定着と向上に向けて、児童一人一人の結果を詳細に分析し、知識及び技能の定着とその活用を一体的に捉えた学力の育成を図る取組の推進が望まれる。

児童質問紙調査では、前回調査において課題であった「将来の夢や目標を持っている」の項目が大幅に改善しており、将来を見据えたキャリア教育の充実に、学校と家庭、地域が一体となって取り組んだ成果がうかがえる。一方、「平日の読書は30分以上である」の項目は、全国平均を大きく下回っており、今後も、読書活動のより一層の充実に向けた取組を重ね、読書に親しむ習慣づくりが望まれる。